

平成30年度「立正大学研究推進・地域連携センター支援費」研究成果報告書

1. 種目 第2種

2. 研究課題名 ヒマラヤ仏教文化圏はいかに形成されたかー河口慧海の事績を手がかりとしてー

3. 研究代表者

研究代表者名		所属部局名	職名
しょうじ	ふみお	立正大学仏教学部	専任講師
庄司	史生		

4. 連携研究者

連携研究者名		所属部局名	職名
ささき	かずのり	立正大学仏教学部	特任講師
佐々木	一憲		
たば	しゃんかる	トリブヴァン大学歴史学科	教授
タパ	シャンカル		

5. 研究実績の概要

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、申請書に記載した「研究目的」、「研究計画・方法」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述して下さい。

- (1)研究の目的：本研究は、公益社団法人日本ネパール協会と連携し、世界に現存する諸仏教文化のうち、サンスクリット仏教文化圏（ここでは試みに、「ヒマラヤ仏教文化圏」という名称を用いたが、この呼称は再考を要する）の特徴とその意義を明らかにすることを目的とするものである。
- (2)具体的内容：本研究について特筆すべき点は以下の通りである。
- ①2017-18年度「立正大学ネパール研究プロジェクト」の成果をうけたものである点。
  - ②日本ネパール協会、またトリブヴァン大学シャンカル・タパ教授との共同研究である点。
  - ③連携研究者である佐々木一憲講師とともに、2018年6月16-17日にネパールのAksheswar Mahaviharaで開催されたSecond International Conference on Academic Buddhism, Buddhist Practices and Environmental Concernへの招待を受け、講演を行った点（詳細は後述）。
  - ④また研究代表者は公益財団法人中村元東方研究所による「平成30年度公益財団法人中村元東方研究所アジア諸国海外研究・調査助成」の助成をあわせてうけた点。
  - ⑤上記ネパール出張では、講演発表の他、震災後のトリブヴァン大学図書館におけるサンスクリット仏教写本の保存状況の調査、またゴールデンテンプルにて営まれる仏教儀礼に関する調査を実施した点。
  - ⑥当該の出張時に、立正大学とトリブヴァン大学との間で締結予定の協定書（その後締結）の最終調整を行った点。
  - ⑦2018年12月13日（木）放映の「ザ・プロファイラー～夢と野望の人生～『玄奘三蔵 史上最強の僧侶』」（BSプレミアム放送）に編集協力を行った点。
  - ⑧2018年12月2日（日）、上記出張に関連し、研究代表者は第19回東方学院・酬仏恩講合同講演会（法相宗大本山薬師寺）にて「神と仏の国 ネパール」と題する講演を行った点。
  - ⑨本研究の成果として報告書『ネパール仏教再考ーネパール宗教文化の視点からー』を、ネパールの印刷所より発行する予定である点。
  - ⑩今回実現した日本ネパール協会との連携を受け、同協会が編者となり明石書店より出版が予定されている『エリア・スタディーズ～現代ネパールを知るための61章』（仮）の原稿執筆依頼を受け、原稿を執筆中（2019年12月刊行予定）。
- (3)研究の意義・重要性等：後述の通り、本研究は単年度の研究期間の中で数本の論文の公表とすることができ、さらに上記⑩の通り次なるステップを確保することができた。これは、前年度まで行われていた「立正大学ネパール研究プロジェクト」からの研究の蓄積があったことによる。本研究の目的達成のために、日本とネパールの共同研究による学術交流は意義深く、今後も継続されるべきものとする。

6. 研究発表（平成 30 年度の研究成果） \*本研究代表者名には下線を付す。

〔雑誌論文〕 計（ 5 ）件 うち査読付論文 計（ 1 ）件

著者名	論文標題				
<u>Shoji Fumio</u>	Sanskrit Manuscripts and Ven. Ekai Kawaguchi - A road map of collaboration between Nepal and Rissho University so far and hereafter				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
<i>Seminar Proceedings, Second International Conference on Academic Buddhism, Buddhist Practices and Environmental Concern</i>	無	1	2	0118	9-12

著者名	論文標題				
Sasaki Kazunori	Originality of Newar Buddhism in Comparison with Buddhism in Kashmir				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
<i>Seminar Proceedings, Second International Conference on Academic Buddhism, Buddhist Practices and Environmental Concern</i>	無	1	2	0118	13-17

著者名	論文標題				
Shanker Thapa, Sasaki Kazunori and <u>Shoji Fumio</u>	Surveying Sanskrit Buddhist Manuscripts in Japan and Construction of Newar Book History				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
<i>Abhilekha</i>	無	35	2	0118	176-186

著者名	論文標題				
Shanker Thapa, Sasaki Kazunori and <u>Shoji Fumio</u>	Identifying the last three Fragments of Nepalese Sanskrit Manuscript in the Collection of Toyo Bunko Brought by Ven.Ekai Kawaguchi				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
<i>Philological report from the Toyo Bunko</i>	無	50	2	0119	1-7

著者名	論文標題				
Sasaki Kazunori and <u>Shoji Fumio</u>	A Study on Scripture Worship in the Kathmandu Valley: An Interim Review with a Prospect of a New Approach for the Philological Study of Sanskrit Buddhism				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁
<i>The Rissho International Journal of Academic Research in Culture and Society</i>	有	2	2	0119	63-82

〔学会発表〕 計（ 5 ）件 うち招待講演 計（ 3 ）件

発表者名	発表標題		
<u>Shoji Fumio</u>	(招待) Sanskrit Manuscripts and Ven. Ekai Kawaguchi - A road map of collaboration between Nepal and Rissho University so far and hereafter		
学会等名	発表年月日	発表場所	
Second International Conference on Academic Buddhism, Buddhist Practices and Environmental Concern	2018年6月16日	Aksheswar Mahavihara (Lalitapur, Nepal)	

発表者名	発表標題		
Sasaki Kazunori	(招待) Originality of Newar Buddhism in Comparison with Buddhism in Kashmir		
学会等名	発表年月日	発表場所	
Second International Conference on Academic Buddhism, Buddhist Practices and Environmental Concern	2018年6月16日	Aksheswar Mahavihara (Lalitapur, Nepal)	

発表者名	発表標題		
庄司史生	ネパールに伝えられる梵文『八千頌般若』写本について		
学会等名	発表年月日	発表場所	
第71回 日蓮宗教学研究発表大会発表	2018年11月10日	日蓮宗宗務院（東京）	

発表者名	発表標題		
佐々木一憲	タパ・コレクション所収ネパール梵語写本『法華経』をめぐる一考察		
学会等名	発表年月日	発表場所	
第71回 日蓮宗教学研究発表大会発表	2018年11月10日	日蓮宗宗務院（東京）	

発表者名	発表標題		
庄司史生	（招待）神と仏の国 ネパール		
学会等名	発表年月日	発表場所	
第19回東方学院・酬仏恩講合同講演会	2018年12月2日	法相宗大本山薬師寺 まほろば会館（京都）	

〔図書〕計（ ）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

研究補助を受けた方は、「研究成果報告書」を提出していただき、ホームページ等で研究成果を公開いたします。研究成果が公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由

なし。
-----